

J A はだの

発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス

今月の特集 4~5面

「農の学び」児童らが理解深め
市内で、農業に関する学びの輪が広がっている。農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が開くイベントが交流にもつながっている。

はだの農業満喫CLUBに登録を
はだの都市農業支援センターは、農産物の収穫会員を募集しています。などが体験できる「はだ情報」をメールでお届けし

QRコードを読み取って申し込みフォームにアクセスし、必要事項を入力してください。これからの時期は、新タマネギやニンニクの収穫、落花生・サツマイモ農園オーナーなどを企画しています。



ランンキュラスを収穫する林さん

ランンキュラス色鮮やかに

卒業や入学のシーズンを迎える。毎朝花の状態を観察して、え、じばさんで秦野産の切り花が人気を集めている。きな花を作る」をモットーに、気に入った品種を選んで栽培する。花に合わせた丁寧な管理を徹底し、大切に育てている。

「楽しみながら栽培できる」とが一番。インパクトがあって消費者に選ばれるような花を作りたい」と笑顔を見せた。



座談会に出席を

4月5~17日

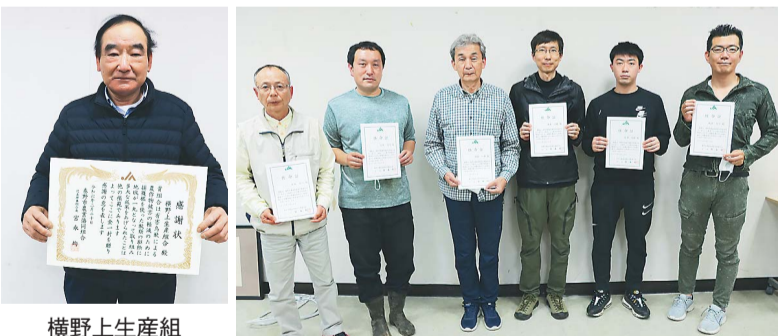
J A 運営に組合員の声反映

春の座談会を4月5日(金)17日(水)に、市内78会場で開催します。JAについて疑問に思っていることや、ご意見・要望をお聞かせください。

今回は、2023年度の事業報告や24年度の事業計画などをお知らせし、新たに始まった「JAねっと注文」のご案内もします。

自分の農地は自ら守る

鳥獣対策へ協力員任命と生産組合表彰



横野上生産組合の山口さん

任命証を手にする協力員

成する協力を設立した。遊休農地の管理などの環境整備、電気柵や防護柵の設置に一丸となつて取り組んでいる。

新たな協力員を代表して、南矢名の志村一寿さんが宮永均組合長から任命証を受け取った。今後捕獲おりや、くくりわなを活用した有害鳥獣の捕獲をはじめ、設置したわなの見回りや点検、農家らへの捕獲指導などの役割を果たしていく。

捕獲優良組表彰を受けた横野上生産組合の山口さん

表彰式で、宮永組合長がのり管理の一人である山口孝嘉さんに感謝状と記念品を授与。捕獲の餌に役立ててもらおうと、今回からサツマイモも贈った。

ネモフィラ 間もなく開花

青年部が丁寧に管理する。JAは2011年に、鳥獣被害対策協力員で構成する協力を設立した。以上捕獲した横野上生産組合を3年連続で表彰した。

法山のネモフィラ畑が、今年も開花時期を迎える。4月上旬から中旬が見込み。



部員は、年間を通して取り組む「花のつばい運動」の一環で、2021年からネモフィラの山展望所(首屋4479番地)付近の休憩場所周辺に位置する。上記のQRコードから地図を確認できる。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

鹿、イノシシ、タヌキ被害対策で講習会

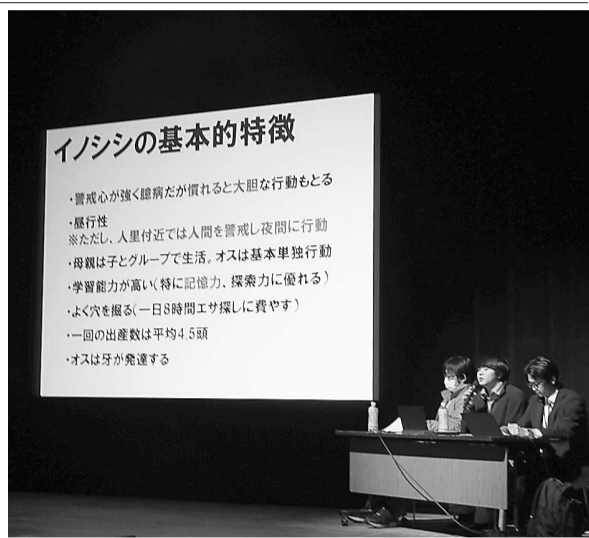
効果的で安全な捕獲を

注意点や生態に理解深める

はだの都市農業支援センターは13日、クアーズテック秦野カルチャーホールで有害鳥獣捕獲講習会を開いた。増え続ける鳥獣被害に対して、効果的で安全な対策に取り組みでもらうことが目的。参加した組合員ら88人が、鳥獣を捕獲する際の注意点や獣の生態について理解を深めた。

同講習会を受講すると3年間、わな猟免許所持者の補助者として、おりの点検や餌まきなど害獣捕獲をサポートできる他、中型動物を捕獲する箱わなを使うことが可能となる。現在は212人の修了者が野生動物から農作物を守るため、わな猟免許所持者と協力しながら活動している。

鳥獣被害対策を担当する県の職員が、鳥獣保護管理法について説明した。イノシシや鹿、タヌキなどの生態を解説。足跡やふんなどの痕跡からの動物の種類を特定し、生れ、整備、捕獲などの作



獣の生態について解説

態や行動を観察した上で、有効な捕獲方法を実行するよう呼びかけた。さらに、箱わなやくくりわなの管理を徹底することや、効果的な餌付けのポイントも周知。餌入



くくりわなの設置手順を確認

くくりわな実演 設置手順を確認しセツト

はだの都市農業支援センターは2月20日、本所で「くくりわな捕獲取扱い研修会」を開いた。鹿やイノシシなどによる農産物への被害軽減に役立ててもらおうと企画。わな猟免許を取得した組合員6人に、わな設置の注意点を説明し、設置手順を実演した。

湘南地域県政総合センターの職員が、法令違反となる事例や起こりやすい事故について解説。獣を捕獲した場合は速やかに報告することや、人がわなにかかり負傷するに注意することを呼びかけた。その後、かながわ鳥獣被害対策支援センターの職員が実技を指導した。参加者は実際にくくりわなの設置手順を確かめながら、セツトするこ

良質な中晩柑生産へ 剪定講習会で再確認



剪定箇所を確認する部員ら

果樹部会柑橘部は11日、南矢名の部員の園で中晩柑剪定(せんでい)講習会を開いた。部員9人が「はるみ」や「湘南ゴールド」などの管理法を学んだ。

果樹部会柑橘部は11日、南矢名の部員の園で中晩柑剪定(せんでい)講習会を開いた。部員9人が「はるみ」や「湘南ゴールド」などの管理法を学んだ。その後、講師が剪定作業を実演した。部員は剪定のポイントや、栽培する品種の特徴などについて意見を交わした。

鳥類の防除ポイント ▼被害を出す鳥類 県内で発生する、鳥類による農作物被害の多くは、カラス、ヒヨドリ、スズメによるもので、野菜や果樹の食害、ふん害などが挙げられます。鳥類の食害痕は、クチバシでつくので、V字型の跡が残ります。葉物野菜は葉の先端から食べられます。

業時には事故が起こりやすいため、細心の注意を払うよう伝えた。参加者は「獣の生態や基本的な特徴がよく分かったので、今後の見回りの際に意識して観察したい。何よりも安全に注意

して対策していければ」と話した。 受賞おめでとう 日頃の成果を発揮 県立毛共進会施設切花(春)が2月16日、県内圃場(ほじょう)を巡回して開かれた。受賞者は次の通り。 ▼優秀賞2席 加藤敬

県果樹立毛共進会の表彰式が2月21日、JA横浜みなみ総合センターで開かれた。受賞者は次の通り。 ▼特別賞・農林水産省 関東農政局長賞・神奈川県果樹組合連合会長賞 草山一郎(平沢)

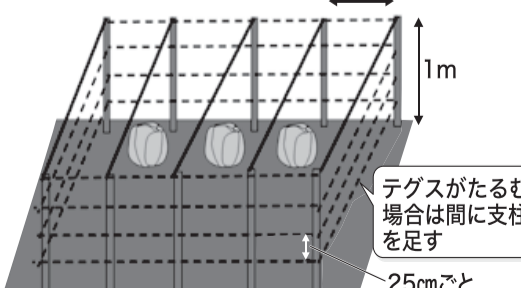
営農技術 ヒントポイント
 かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (鳥田・加藤)
 農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333
 ●果樹花き課 果樹(笹屋)・作物加工課 作物(楡垣)加工(木下)
 ●野菜課 花き(青木) (草野)

要。適切な管理を進め、良質なかんきつの生産につなげたい」と話した。

図1 ネットの設置例



図2 テグスの設置例



しっかりと対策して、大切な農作物を鳥類から守りましょう。(加藤)

▼鳥類撃退グッズ 鳥を追い払うため、光や音で驚かせる機器や、天敵である猛禽(もうぎん)類の模型などを用いた道具は、被害を長期的に防ぎ続けるのが難しいです。初めは見慣れないものに警戒して近づかなくなり学習してしまうと、効果が無くなってしまいます。また、特定の色やCDから十分に距離を取り、

▼被害防止の具体策 鳥類の農作物被害を防ぐには、ネットなどで覆うのが有効です。ネットの目合いは、カラスの場合70mm以下、ヒヨドリは30mm以下、スズメの場合は20mm以下の物を使用しましょう。ネットを設置する際は、作物グスの位置がたるむ場合は、途中に支柱を追加します。より効果的に防ぐため、側面にも25cm間隔で合計4段張りましょう。



JAグリーンは農家を応援します
 春野菜作りの資材割引
 4月6日(土)~14日(日)
 JAグリーンはだのは4月6日(土)~14日(日)、春野菜作りに適した肥料や農薬などの割引キャンペーンを実施します。期間中は人気商品を特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719

ふるさとの味を次世代へ



栗原さんと一緒にあんを包む参加者

女性部は2月22日、本所で「ふるさと料理教室」を開いた。次世代に秦野の家庭料理や手作りおやつを伝えようと開いているもの。みどりこども園の園児の母親7人が参加し、蒸しまんじゅうを作った。

母親に料理教室

教室は、じばさんずまんにゅうなどの加工品を出荷している南支部の栗原悦子さんや、相原由美子支部長ら支部役員3人が講師を務めた。

参加者は、蒸しパンミックスに湯を加え、固さを確認しながら生地を作った。その後、講師に手順を教わりながら小豆あんと落花生あん、シューマイの3種類の具材をそれぞれ包み、蒸し器で蒸かして完成させた。手に打ち粉を付ける器具が包みやすくなることや、まんじゅうが割れないように火加減を調整することなどのポイントも学んだ。

参加者の一人は「講師の方々が分かりやすく教えてくれた。思っていたよりも簡単に作る事ができたので、さっそく家でも試してみたい」と話した。

秦野の手作りおやつ伝承

五百羅漢像や古墳を見学 第4回「歩こう会」



1号古墳を見学する参加者ら

目的別趣味グループ「歩こう会」は2月28日、23年度4回目の活動を実施した。会員48人が小田

活動参加でグッズもらおう

24年度ポイントカード制度

女性部は、今年度もポイントカード制度を実施しています。参加した活動のポイントに応じて1〜3個のスタンプを押して、景品をプレゼント。

2024年3月から25年2月末時点で、たまたまのポイント数に合わせ、景品をプレゼント。

ポイント獲得メニュー表

1ポイント	女性部総会、女性部座談会、支部会（出席者：三役・班長・趣味グループ代表者・フレッシュミズ代表者）、支部活動、女性部スポーツ大会（応援者含む）、本所開催の各種料理講習会・サポーター活動（活動ごと）、大豆プロジェクト（連絡委員・作業参加者）、各種まつり、たばこ音頭パレード、フレッシュミズ講座、女性部企画旅行、乳がん子宮がん検診、文化交流会（受付対応者・舞台発表者・展示）、J Aはだの創立記念式典、健康福祉大会、組合員講座新規受講者
2ポイント	各種サポーター登録、人間ドック受診、県家の光大会発表（J Aはだの代表）、J Aはだの組合員新規加入者
3ポイント	女性部加入紹介者、フレッシュミズ代表者、J Aはだの家の光大会発表者、パルシステム新規加入者、家の光年間購読者

女性部は、第56回女性部総会（画）並びに収支予算書案）2人が「家の光」に掲載された記事を4月9日（火）午後1時から承認について、「女性部特別報告並びに収支決算書の承認にきまつて」の3動を通じた体験を発表します。女性部の今後の運営や取り組み内、議案を上げます。皆さんの応援が、発表者の励みにもなります。多くの参加を待ちしています。

女性部総会に出席を

4月9日（火）午後1時から

総会には「2023年度活動「J Aはだの家の光大会」を開き、体験発表者は次の通り。報告並びに収支決算書の承認にきまつて、参加者と共に暮らしての▽大根支部▽宮村菊江▽上支について」「2024年度活動計画」向上を図ることを目的に、代表部▽和田雅子

原市を訪れ、寺や遺跡などを巡りながら交流を深めた。会員は小田急線足柄駅を出発し、玉玉寺を参拝。本堂に安置されている五百羅漢像を見学した。その

昨年度は、J Aはだのオリジナルキャラクター「やえのちゃん」「ぴいなマン」がプリントされたエコバッグやボールペンなどの他、エコープマーク品をご用意しました。積極的に活動に参加して、皆さんで部を盛り上げましょう。

お問い合せは生活福祉課まで。872-766



2023年度のポイントカード景品

555555女性部活動

読み聞かせ「ふわふわしっぽ」

代表 草山 弥生さん

私たちは、保育園や幼稚園、小学校などで絵本の読み聞かせや「素話（すばなし）」という語りをしています。

小学校では、朝の自習時間と、学校行事としての授業時間の二つで活動しています。仕事をしているメンバーも多いですが、朝の読み聞かせは、小学校で絵本を読んでもらうというメンバースタッフもいるので、長く活動していく一助になっています。

読み聞かせは、事前に絵本を選び、練習を重ねてから子どもたちの前に立ちます。「待ってた!」「楽しかった!」といった子どもたちの反応や笑顔から、私たちは喜びと力をもらっています。

地域の子どもの成長に関わることができ、やりがいのある活動だと感じているので、これからもメンバー全員で積極的に取り組んでいきたいです。



読み聞かせ「ふわふわしっぽ」の様子

4月の女性部行事予定表

3日（水）	10:00~ J A 県女性組織協議会新旧役員会
5日（金）	10:00~ 体操・音頭普及委員会
//	13:30~ 本部役員会
9日（火）	13:00~ 第56回女性部総会
11日（木）	9:30~ 支部会（大根・南）
//	13:30~ 支部会（北・上）
12日（金）	9:30~ 支部会（本町・西）
//	13:30~ 支部会（東）
16日（火）	9:00~ 女性部グラウンドゴルフ大会
17日（水）	10:00~ フレッシュミズ代表者会議
19日（金）	10:00~ J A 県女性組織協議会および女性部長・事務局会議
24日（水）	10:00~ 南支部「ゴキブリ団子作り」

支部だより

不知火狩り

大根支部は4日、南矢名の果樹園で不知火（しらぬい）狩りを行った。2022年から開催した。2022年から開催した。2022年から開催した。



不知火を収穫する部員

し、部員から人気を集める支部活動の一つ。15人が参加し、収穫を満喫しながら部員同士の交流を深めた。不知火狩りは、園を管理する尾澤健一さんが協力。部員は、尾澤さんから収穫方法やおいしい実



JAタウン大使の根本さんと北原店長

JAタウンへ出品 公式応援大使もPR

JAはだのが製造・販売する冷凍ゆで落花生「うでピー」が、2月20日からJA全農の産地直送通販サイト「JAタウン」で販売されている。1989年の誕生から35年間、地域で親しまれてきた一品が、ついに通販

「JAタウン」への出品の提案があった。秦野の特産品を全国の消費者に届けられ、出品を決めた。販売開始に当たり、JAタウン公式応援大使の根本さん、同店を訪れ、

「八重桜の里」百慢

地域一体で盛り上げ



来場者に「丹沢のさくら漬」をPRする千村若竹会のメンバー

JAはだのが製造・販売する冷凍ゆで落花生「うでピー」が、2月20日からJA全農の産地直送通販サイト「JAタウン」で販売されている。1989年の誕生から35年間、地域で親しまれてきた一品が、ついに通販

JAはだのが製造・販売する冷凍ゆで落花生「うでピー」が、2月20日からJA全農の産地直送通販サイト「JAタウン」で販売されている。1989年の誕生から35年間、地域で親しまれてきた一品が、ついに通販

農の学び

児童が伝える 小麦のおいしさ

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

末広小学校6年2組の児童が、地場産小麦の魅力を多くの人に伝えている。農家の協力で小麦への知識を深め、他学年の児童や地域住民らに向けてPRイベントを開催。小麦の魅力を多くの人に伝えるべく、市内の農家と連携し、小麦の収穫体験や小麦の加工体験などを実施している。



児童が小麦の収穫体験の様子

子どもも楽しく理解深め 自ら企画も

先生も負けずに現場をこの目で 茶の生産者と交流

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。



製造する茶について説明する高梨さん

初のジャガオーナー制 種芋植え付け



種芋を植え付けるオーナー家族

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

ジャガイモ 大きくなあれ

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

発見 頑張り屋

手作りこだわりの



市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

表彰 年間最優秀賞 南支所が



市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

新規就農 コースで実習



市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

協同活動の活性化へ研修



市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

子どもと楽しく 不知火を収穫



市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

相続時の注意点 民法改正学ぶ



市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

市内で、農業に関連する学びの輪が広がっている。市内の農家の協力で、体験などを通して農への理解を深める。児童が得た学びを多くの人に伝えようとイベントを開く他、視察を通して農家と教諭との交流にもつながっている。

告知板

うでピー用落花生 の出荷者を募集

JAは、冷凍ゆで落花生「うでピー」用の落花生出荷者を募集しています。

「うでピー」は、農家から集荷した落花生をさやごゆでして瞬時に冷凍したもので、県の「かながわブランド」にも登録されている秦野市の特産品です。落花生をJAに出荷してみませんか。

●対象品種 郷の香、千葉P114号他

●出荷時期 8月上旬～9月上旬

●昨年の買い取り価格 (1キ当り・税込み) 8月上・中旬972円、8月中旬～9月上旬864円 ※A品の場合

●出荷方法 落花生を指定のコンテナに入れ、平沢にある加工所へ搬入。

有料でJA職員による 庭先集荷も可能です。

●対象者 期間中に50以上の出荷を見込める方

●買い取り価格や出荷時期などは年度によって変更になる場合があります。

●なお、生産者へのサポートとして、JA職員による栽培指導の他、土壌診断や栽培講習会なども行っています。

●出荷のお申し込み、お問い合わせは営農販売課まで。☎81-7718

グラウンドゴルフ 大会の参加者募集

JAはだのは、第17回グラウンドゴルフ大会を開きます。

●日時 5月15日(水) 午前8時30分 ※雨天の場合5月16日(木)

●会場 広場多目的広場

●募集人員 144人

●参加資格 市内に在住する60歳以上の組合員(家族を含む)または秦野市ターゲットボードゴルフ協会員

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

募集人員 96人

●参加資格 市内に在住する60歳以上の組合員(家族を含む)またはJAはだの口座で年金を受給している方

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・支店で申し込みを受け付けます。定員になり次第締め切ります。

●お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

農産加工品の 相談会を開催

農産加工品をテーマにした相談会です。どなたでもお気軽にご参加ください。

●日時 4月24日(水) 午前10時～午後4時

●場所 本所農業団地センター2階 調理実習室

●内容 午前は県農業技術センターの職員が、5月で経過措置が終了する食品衛生法の改正についての講義を行います。

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

●申し込み方法 3月28日(木)から各支所・

雇用形態 パート

●業務内容 利用者の送迎業務(清掃・点検)

●必要資格 普通自動車免許

●時給 1122円

●時間 午前7時50分～午後9時20分、午後4時～午後5時30分(週4日程度、午前・午後だけでも可)

●業務内容 デイサービスでの介護業務

●必要資格 介護職員初任者研修修了者または介護福祉士

●時給 1122円(入職支度金制度あり)

●時間 午前8時10分～午後4時40分(週5日程度、勤務日数・時間など相談に応じます)

●お問い合わせはJAデイサービスセンターはだのAダイヤルセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

●お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

候補者全員当選 総代60人決まる

正組合員に、先月の組合員訪問日で総代選挙についてお知らせしました

が、候補者数が総代定数を超えなかったため、無投票となりました。

生産組合や女性部から推薦された各選挙区の候補者全員が当選し、60人の総代が決まりました。

お問い合わせは総務課まで。☎81-7711

デイサービス 職員を募集

JA神奈川県厚生連JAデイサービスセンターはだのAダイヤルセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

お問い合わせはJAデイサービスセンターにお願いします。

協同組合講座を 受講しませんか

	組合員講座	組合員基礎講座
内容	農業や地域、生活など幅広いテーマをもち、市内の体験型農園などを視察。	協同組合やJAはだの取り組みを中心とした基礎的な学習。座学の他、小田原市尊徳記念館の視察や収穫体験などを実施。
対象者	組合員とその家族	准組合員とその家族
募集定員	25人	20人
期間	2024年5月～2025年1月	

JAはだのは、都市農業やJAなどについて学べる、協同組合講座を開いています。2024年度の受講者を募集していますので、興味のある方はぜひご参加ください。応募締め切りは4月12日(金)です。

お問い合わせは各支所・支店または組織教育課まで。☎81-7714

休日年金相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

日時・場所 **4月14日(日)** 午前9時～午後4時
本所農業団地センター

※どなたでもご相談いただけます。

できるだけ事前予約をお願いします
信用課 TEL.81-7716 当日は☎0120-954-092

休日 ローン 相談会

ご来場の方に記念品を進呈

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでもお気軽にご相談ください。

4月20日(土)
午前9時～午後4時 JAはだの本所

完全予約制のため、事前予約をお願いいたします
融資課 ☎0120-954-093 ホームページ「休日ローン相談会」から予約可能!
またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。 JAはだの 検索

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
せせらぎの声にめざめし露の臺

石原 松枝(渋 沢)

学び舎の屋根に残りのわすれ雪

石田 陽子(ひばりヶ丘)

相照らす四方の山々雪の果て

柳川みち子(栄 町)

夢語り思いで語り雪の果て

佐藤英美子(南矢名)

美容師のはなしも虚ろ目借時

森高 由子(渋 沢)

菜の花や貸し借りのない友とあて

高島美和子(名古屋)

びんづるの頭撫でたる雪の果て

吉田 清美(渋 沢)

三猿の根付播らして弥生原

菊池としえ(菩 提)

両の手におとがひのせて春の雪

志賀 明子(千 村)

雪の果て丹沢山に猛禽来

櫻庭 義昭(室 町)

光秀が夢はうたかた春の雪

植田 忠克(尾 尻)

雪の果て風に汚れし磨崖仏

雪の果て(久保寺 富男 選)

追悼のウインナワルツに聴き入りぬ

再び逢いたし指揮する小沢に

3月25日に理事会を開
催し、次のことを審議し
ました。

▽第61回通常総代会の
開催について

▽定款および定款附属
書総代選挙規程の一部変
更について

▽「役員」の選任につ
いて

▽「役員報酬を総代会に
附議する件について

▽「退任理事および退
任監事に対する慰労
金の贈呈について」を総
代会に附議する件につ
いて

▽総代選挙にかかる投

票管理の変更について

▽金商店舗再編に伴う
諸規程、内規の改正につ
いて

▽2023年度決算に
かかる償却・引当案につ
いて

▽2023年度貸借対
照表、損益計算書、剰余
金処分案、注記表および
事業報告ならびにこれら
の附属明細書の監事およ
びのり監査法人への提
出について

▽「2024年度指導
事業の費用に充てるため
の経費(賦課金)につ
いて」を総代会に附議する
件について

▽信用事業方法書の改
正について

▽高額貸出金の借入申
し込みについて

▽「与信取引に係る利
用者への説明等対応要
領」の改正について

職員人事

かつこ内は旧部署

◎2月24日付退職

齋藤健伍(総務課)

◎3月1日付新採用

清水理汰(営農販売課)

結婚相談日

4月10日(水)

時間 午前9時~正午

事前に電話でご予約をお願いします。

先着4人ですとお受けできない場合
があります。

ご予約・お問い合わせは組織教育課

881-7714

税務相談日

4月9日(火)

午前9時30分~

法務相談日

4月19日(金)

午後1時30分~

場所 本町支所

予約制です。事前にお電話でご予約をお願い
します。受け付け順に相談時間が決まります。
ご予約は(株)協同コンサルトはだの

881-2329

「JAはだの」の開いた「神奈川県JA

優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA

優秀賞に選ばれた。コン

新制度で電牧器本体に助成

農作物
被害防止

JAはだのは、野生動物による農作物への被害を防止するため、電牧器本体の購入に対して助成金を交付します。JA共済連の地域貢献活動(3月~翌年2月)当たり1世帯1事業を利用し、新制度を導入し、回まで

助成対象 JAの1事業年度

助成金額 購入費用の半額(上限3万円)

助成対象 JAはだの組合員

助成要件 JAはだので購入し

助成対象 JAはだの組合員

助成要件 JAはだので購入し

助成金額 購入費用の半額(上限3万円)

助成対象 JAはだの組合員

助成要件 JAはだので購入し

助成金額 購入費用の半額(上限3万円)

助成対象 JAはだの組合員

助成要件 JAはだので購入し

助成金額 購入費用の半額(上限3万円)

助成対象 JAはだの組合員

助成要件 JAはだので購入し

助成金額 購入費用の半額(上限3万円)

助成対象 JAはだの組合員

家の光 今月の新刊

東京農業大学グリーンアカデミーに教わる写真でよくわかる はじめての野菜づくり

柳川武夫 著

東京農業大学の特別講師が、基礎的な理論と実践に基づき野菜作りのコツを大公開。トマトやナスなど人気の野菜34種の作り方を、豊富な写真で品目別に解説している。定価1760円(税込)

「JAはだの」最優秀賞

県内機関紙
コンクール

機関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

関紙「JAはだの」の開いた「神奈川県JA優秀賞に選ばれた。コン

葉ニンニクのポテトサラダ

東支部 合田 久美子さん



■材料4人分■
葉ニンニク120g、ジャガイモ3~4個、ごまドレッシング大さじ3~4、マヨネーズ大さじ2、塩・こしょう少々

<作り方>

- ①葉ニンニクの根を切り落とし、さっとゆでる。
 - ②2の長さに切り、水気を切る。
 - ③ジャガイモをゆで、熱いうちに皮をむいてしっかり潰す。
 - ④②にごまドレッシング、マヨネーズを合わせる。
 - ⑤③に④を加えて、塩、こしょうで味を調える。
- <ひとことアドバイス>
ごまドレッシングを使うことで、簡単に味が決まります。

写真などの編集技術を総合的に審査。県内の8JAが応募した。審査は、(株)タウンニュース社や(株)角川アスキー総合研究所などが行った。機関紙「JAはだの」は、一タプロイドならではの記事展開、記事写真の選択、見せ方に安定感がある。1・4・5面のレイアウトにインパクトがあり、読者を引き込む工夫が施されている」と評価された。

食と農を楽しく学ぼう



ちゃぐりんスクールでイチゴ狩りを満喫(昨年)。申し込みQRコード

ちゃぐりんスクールでイチゴ狩りを満喫(昨年)。申し込みQRコード

募集 JA正職員

- 応募資格 2025年3月に大学または短大を卒業予定の方、卒業後3年以内の方
- 募集人員 若干名
- 職種 JA業務全般に携われる方(総合職)
- 応募受付期間 2024年4月22日(月)午後5時まで
- 応募方法 マイナビ2025のウェブサイト上で「JAはだの」と検索し、確認してください。右記QRコードからもアクセスできます。
- お問い合わせ先 〒257-0015 秦野市平沢477番地 秦野市農業協同組合 総務課 TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分~午後5時)



葉ニンニク

特産化大きく前進

葉ニンニク研究会が、葉ニンニクの特産化を大きく前進させた。秦野産の葉ニンニクが、特産化に向けて大きく前進している。県の「かながわブランド」に新たに登録された他、じばさんずや点心店とコラボレーションして「葉にんにくパーク」を新発売。消費拡大や新たなファンづくりに一層取り組んでいく。

かながわブランド登録

高品質、良食味が評価

研究会が生産する「はが特徴だ。だの葉ニンニク」が、かながわブランドに登録された。「はだの葉ニンニク」は、葉や茎の部分を食べる品種。ニンニクの味わいや香りがまろやかで、彩りも良く、さまざまな料理に取り入れやすいのが特徴だ。ニンニク特有のにおいがあることから、野生動物の被害を受けにくく、鳥獣被害の多い地域でも栽培しやすい。耕作放棄地の解消にも期待がかかる品目だ。



ブランド登録をPRする会員



「葉にんにくパーク」を開発した穂山社長と諸星会長ら

じばさんずで14日か「パーク」の販売が始まりました。新商品「葉にんにく」は、葉ニンニク研究会と市内の点心専門店「苜蒲庵」、じばさんずの三者が共同開発。秦野産葉ニンニクの豊かな風味と、豚肉のジューシーさがマッチした一品だ。「葉にんにくパーク」は、刻んだ葉ニンニクを秦野産の豚肉「門倉ポーク」やニンジンなどと一緒に混ぜ、平たい円形にしてシューマイの皮で包んだ加工品。皮でうま味を閉じ込め、口に入れると豚肉のじゅわっとしたジューシーさと葉ニンニクの香りが楽しめる。葉ニンニクが直売所に並ばない時期にも、秦野産の葉ニンニクを食べることができるよう、通年販売できる体制を確立。

「葉にんにくパーク」新発売 通年販売でPRに一役

品質の高さや食味の良さなどが高評価を得た。さ

野菜びなお目見え 地場産で華やかに演出



栗原さんが手作りした野菜びな

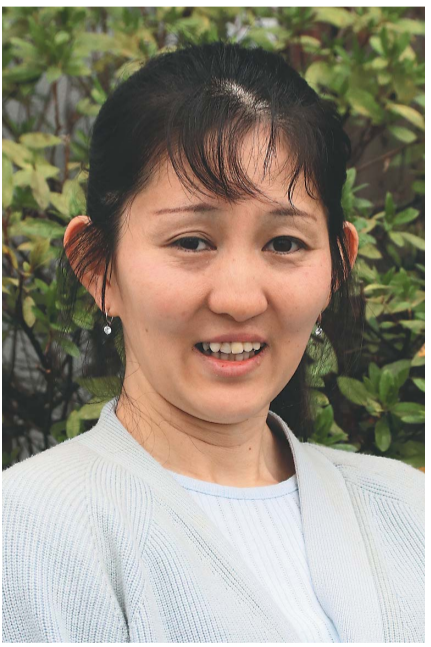
じばさんずで2月28日、地場産野菜で作った野菜びなが飾られた。出荷者の栗原悦子さんがひな祭りに合わせ、自ら育てた野菜で手作りしたものの。多くの来店者が「にっこりした表情がとてもかわいい」「野菜で細かく作られていてすごい」などと足を止めた。5体の野菜びなには、自宅で作った7〜8品目の野菜や花などを使用。土台のダイコンに、キャベツや葉ポタンを巻き、十二単(ひとえ)を表現した。頭はカブ、おひなさまや三人官女の頭飾りは葉ポタンで仕上げた。野菜びなの胸元には、菜の花やフィノトウを飾り付けた他、ひな壇にはキンカンと桜の枝を置き、季節感華やかさを演出した。

特産化を目指す葉ニンニクのPRにもつなげる考えだ。

接近! おじゃまです

南矢名の小林千枝香さんは、相模原市で福祉関連の仕事をしていて、障害を抱える人が社会で活躍できる場として、農業とのつながりを強くできないかと模索。もともとガーデニングが好きだったこともあり、自らが農業に踏み出す決意をした。かながわ農業アカデミーで農業のノウハウを身に付け、2023年の春に秦野市に移り住んだ。中井町の30坪の畑を整備しながら、同年秋からダイコンや小松菜などを栽培。春からは本格的に野菜の栽培に力を入れていく。中井中央公園の近くにも畑を借り、収穫体験などを企画も計画している。やさしい農業をすることで、炭素循環農法を実践し、植物と共生するお出かけ先になり、非日常的な味わってもらい活性化させることで、農業や肥料は使わずに野菜を育てる。「収穫したカブは歯触りが良く優しい味に仕上がって、知人にもおいしいと言ってもらえた」と笑顔を見せる。

福祉と農業つなげたい



南矢名の小林千枝香さん(34)

今後について「まずは農業経営を軌道に乗せていきたい。ゆくゆくは農業を通じて障害者の雇用の場を提供していきたい」と展望を語った。

やえのちゃん ぴーなマンの

インスタ この1枚

今月の1枚は、15日に掲載した「Sun's Gelatoのフレーバー紹介」の投稿よ。今回は「八重桜の塩」を紹介しているわ。

秦野産の八重桜の塩漬けを使っているんだよね。一度食べたらクセになる味だよ。

薄いピンク色で、見た目にも春を感じられるジェラートよね。じばさんずでは、八重桜の塩漬けを練り込んだ「八重桜ソーセージ」も販売しているから、ぜひ食べてみてね。

秦野市の農作物を使用

Sun's Gelato

InstagramのJAはだの公式アカウントは、この他にも情報を発信しているよ。ぜひフォローやいいねをしてね。

より良いJA運営の実現を目指し 積極的なご意見を

～春の座談会にご出席ください～

4月5日(金)から17日(水) 市内78会場で開催

組合員の意見や要望をJAの運営に反映し、組合員参加による協同組合運動を進めようと、春の座談会を4月5日(金)から17日(水)まで市内78会場で開きます。

今回は、2023年度の事業報告や2024年度の事業計画、自己改革工程表の実績、剰余金処分案などについて説明します。

また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひ、お聞かせください。多くの組合員の皆さまのご出席をお願いします。



昨年の春の座談会(黒木・欠畑)



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 ㈱JA情報サービス

協同組合運動の躍進に向けて



代表理事組合長
宮永均

農業を取り巻く環境は、肥料や燃料などの生産資材価格が高騰する中、猛暑や暖冬、雨不足などの著しい気候変動がさまざまな農畜産物に影響を及ぼして、生産農家にとって非常に厳しい1年となりました。また「農政の憲法」と言われる「食料・農業・農村基本法」の改正案が閣議決定され、食料の安定的確保や環境と調和した産業への転換、人口減少下での生産水準や地域コミュニティの維持を目的に、環境に優しい持続可能な農業への転換や、新技術・新品種の導入などによる生産性の向上などが求められています。

こうした状況の中、JAはだのは、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に資するべく「不断の自己改革」に取り組みとともに、食と農を基軸に第六次中期経営計画(22年度～24年度)中間年度の実践に取り組みました。

営農指導事業は、訪問・相談活動を通じ、生産者の要望を踏まえた営農指導と販売提案に努めました。また、はだの都市農業支援センターは、新規就農者支援や鳥獣被害対策、観光農業振興に取り組み、地域における農業生産基盤の維持・継続を図りました。販売事業は、じばさんずを拠点とした新鮮で安全・安心な農産物や手作り加工品の供給に努めるとともにSun's Geiato(サンズジェラート)で秦野産農畜産物を使用したオリジナル商品を提供し、地場産農産物の魅力発信に努めました。

経済事業は、生産資材が価格高騰を続ける中、農家の負担軽減を図るため、春肥や重油への助成、畜産農家への支援を行うとともに、購買事業再編として、購買品を本所と大根支所へ集約しました。金融共済事業は、多様化する相談窓口の一本化を目的に資産相談センターを設置するとともに、地域に根差した金融機関として組合員・利用者の満足度を向上させる店舗づくりに取り組みました。

経営管理は、西支所の新事務所を竣工した他、事業再構築計画第2次再編で上支所の金融共済業務を西支所へ統合しました。また、総合経営収支の安定確保とコンプライアンス態勢の徹底、効率的・効果的な監査を実施し、経営の健全性と信頼性の維持に努めました。

23年度の事業実績は、各事業とも厳しい環境の中で、組合員の結

集、地域の利用者のご理解とご協力により、おおむね計画に沿った成果を残すことができました。改めて感謝申し上げます、事業活動の概況報告とさせていただきます。

春の座談会は23年度の事業を報告するとともに、多くのご意見を報告をいただき、今後の事業運営に反映させていただきたいと考えていますので、一人でも多くの組合員のご出席をお願いします。

第61回通常総代会を開催

日時 5月30日(木)午後1時30分～
場所 クアーズテック秦野カルチャーホール 大ホール

通常総代会提出議案

- 第1号議案 2023年度事業報告および剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 2024年度事業計画の設定について
- 第3号議案 役員報酬について
- 第4号議案 2024年度指導事業の費用に充てるための経費(賦課金)について
- 第5号議案 退任理事および退任監事に対する退任慰労金の贈呈について
- 第6号議案 定款および定款附属書総代選挙規程の一部変更について
- 第7号議案 役員を選任について

総代会はJAの最高意思決定機関で、JAの運営や今後の取り組みなどを決定します。

第61回通常総代会提出議案は、右記の第1号議案から第7号議案までです。

組合員・地域とともに歩むJAはだの

2023年度活動の実績

JAはだののすがた

●2024年2月29日現在 ●()内は前年同期実績
●数字は単位未満切り捨て ●この特集号の数値は速報値です

9 便利で安心 JAバンク

- 資産活用や相続にかかる不安・悩みに対する資産相談
- 投資信託による資産形成サポート
- 年金相談会や相続遺言・資産相談セミナーの開催
- 特殊詐欺被害の未然防止に向けた取り組み

貯金残高 **2,369**億円 (2,377億2千万円)

10 農業・事業・生活資金などの融資

- 営農・経済部門と連携し農業振興に必要な資金対応
- 農業資金の新規取り扱い
- 資産相談センター・(株)協同コンサルトはだのと連携した事業資金の提案
- 住宅・マイカー・教育などの資金対応

貸出残高 **416**億4千万円 (422億5千万円)

11 万ーに備えての共済

- 安心と満足をお届けする「3Q活動」の実施

長期共済新契約高 **235**億4千万円 (260億5千万円)

長期共済保有高 **3,925**億7千万円 (4,014億円)

1年間に支払った事故共済金額

事故	1,598件	14億8千万円	(2,157件 15億4千万円)
生命	1,008件	11億5千万円	(1,531件 12億6千万円)
建物	108件	1億7千万円	(119件 7千万円)
自動車	479件	1億5千万円	(506件 1億9千万円)
その他	3件	(1件)	

12 活動のみり

当期剰余金 **2**億8千万円 (3億5千万円)

13 (株)協同コンサルトはだの

- 資産保全と土地活用の支援
- 相続発生後の相談を随時受け付け
- 入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん

入居率 **97.9%** (98.5%)

5 安全・安心な農産物の供給

- 地産地消を中心とした販売力の強化

全体の取扱高 **18**億円 (18億円)

はだのじばさんの利用状況

利用者総数 **51**万5千人 (50万5千人)
うちSun's Gelato **2**万8千人 (2万4千人)

取扱高 **10**億5,643万円 (10億1,432万円)
うちSun's Gelato **1,988**万円 (1,665万円)

6 健康と福祉の取り組み

- 「JA健康寿命100歳プロジェクト」の展開
- 団体人間ドックや各種健康診断の受診を呼びかけ
- 子育て支援「ママメートクラブ」を開催
- 農産加工セミナーおよび加工相談会を開催
- 女性部を中心に食料支援「フードドライブ」を実施

申請者人数
長寿記念品の贈呈 **115**人 (115人)

受診者人数
人間ドック **713**人 (742人)

7 生産資材を安定供給

- 肥料・A重油・電牧器関連資材などへの助成
- JAグリーンはだのでクレジットカード決済の取り扱いを開始
- 予約購買の基幹品目である新茶や県産飲料、空調服などの普及

全体の供給高 **21**億9千万円 (26億1千万円)

生産資材 **10**億7千万円 (11億5千万円)
生活物資 **11**億1千万円 (14億6千万円)

8 共同施設の利用

- 一般葬や家族葬、一日葬に対応した葬儀施行

JAセレモニーホールはだの取扱高 **260**件 **3**億8千万円 (235件 3億2千万円)

1 みんなの仲間

組合員数 **14,179**人 (14,315人)

内訳 正組合員 **2,666**人 (2,753人)
准組合員 **11,513**人 (11,562人)

組合員戸数 **11,815**戸 (11,882戸)

内訳 正組合員戸数 **2,099**戸 (2,160戸)
准組合員戸数 **9,716**戸 (9,722戸)

2 資本の状況

資本の合計 **162**億4千万円 (161億円)

内訳 準備金・積立金他 **15**億8千万円 (144億8千万円)
出資金 **146**億6千万円 (16億2千万円)

3 組織活動・教育広報の充実

- 農政活動の取り組みとして市長や市議会議長に農林業施策・予算要請書を提出
- 支所運営委員会が地域の特色を生かした組合員参加型の協同活動を展開
- 農業や秦野の歴史、SDGs、スマホの活用方法など、さまざまなテーマについて学習する協同組合講座を開講
- ホームページやInstagramを活用した情報の発信


Instagram 投稿回数 **142**回
Instagram フォロワー数 **3,590**アカウント

4 営農事業の取り組み

- 持続可能な地域農業の確立
 - ・部会担当者や販売TAC担当者による面談、対話を通じた提案や相談活動の充実
 - ・関係機関と連携した多様な担い手の確保、育成に向けた取り組み
 - ・畜産生産者への緊急支援を実施
- はだの都市農業支援センターの取り組み
 - ・「はだの農業満喫CLUB」への加入促進

メール配信システム登録数 **806**人

- 「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用した補助を実施
- 観光農業振興の充実に向けた農園ハイクや収穫体験の実施



2023年度協同活動の主な記録

9月

- ・JAはだのが「友好JA協定」「災害時相互支援に関する協定」を結ぶ福岡県のJAにじの管内が、集中豪雨によって甚大な被害を受けました。それを受け、宮永均組合長がJAにじを訪問し、義援金を贈呈。さらに、災害復興支援隊として役職員4人を派遣し、堆積した土石などの除去作業に協力しました。
- ・生産組合長視察研修会を開きました。各地区の生産組合長とJA役職員62人が長野県を訪れ「はびろ農業公園みはらしファーム」などを視察しました＝写真。



3月

- ・第11回地域農業振興大会を開きました。4年ぶりの開催となり、生産組合長や業種別部会の部会員、直売所出荷者ら126人が出席。秦野市の農業活性化に丸となって取り組むことを誓い合いました。
- ・JA新採用職員9人が、秦野市農業経営士会の協力で農家実習に励みました。農家に寄り添うJA職員となるため、実習を通して農業経営士から農業に対する思いを学びました＝写真。



10月

- ・福島県と栃木県で国内視察研修会(宿泊)を開きました。協同組合講座の修了者と役職員計16人が、JA東西しらかわや二宮尊徳記念館を訪れ、友好JAが取り組む事業や協同のルーツを学びました。
- ・創立60周年記念事業として、本所に太陽光発電システムを導入しました。持続可能な開発目標(SDGs)の達成にもつながる、脱炭素社会の実現に向けて、環境保全に取り組んでいます＝写真。



4月

- ・秦野市農業後継者クラブ「秦友会」は第59回通常総会を開きました。委任状を含め会員10人が出席し、上程された4議案を審議しました。会員は、2022年度の活動報告や23年度の活動計画などを可決。役員改選を行い、下大槻で露地野菜を生産する原卓司さんを会長に選びました＝写真。
- ・組合員の声をJA運営に反映させるため、市内81会場で春の座談会を開きました。4年ぶりに対面で開催し、出席した各地区の組合員960人から、多くの意見や要望が寄せられました。



11月

- ・農業まつりを開催しました。盛大な開催は4年ぶり。生産者の農産物即売コーナーや、女性部・青年部などの模擬店が軒を連ね、2日間で約1万8000人の来場者でにぎわいました＝写真。
- ・市民の日のイベントの中で、協同組合フェスタを開きました。生活協同組合なども参加して活動を紹介した他、JAオリジナルキャラクター「ぴーなマン」が市のキャラクターと一緒に会場を盛り上げました。



5月

- ・組合員教育事業の一環で、協同組合講座の開講式を開きました。協同組合運動の地域リーダーを養成することが目的。合計60人の受講者が出席し、カリキュラムがスタートしました＝写真。
- ・クアーズテック秦野カルチャーホール大ホールで第60回通常総代会を開きました。今後のJA運営に関する最高意思決定の場で、多くの総代が出席。上程した6議案全てが可決されました。



12月

- ・第89回新穀感謝祭が伊勢原市大山阿夫利神社社務所で開かれました。崇敬農家が五穀豊穡(ごこくほうじょう)に感謝し、米や麦などの穀物を神前に奉納しました。
- ・青年部員の生産する花を植えたプランター100鉢が、市カルチャーパークで「はだの丹沢水無川マラソン」のコースを彩りました。部が取り組む「花いっぱい運動」の一環で「JAはだの青年部」のステッカーを貼ったプランターを提供しました＝写真。



6月

- ・食農教育の一環で開く「ちゃぐりんスクール」で、農産物の実験教室を行いました。家の光協会の職員を講師に、水を張った水槽に野菜を入れ、秦野で栽培されている野菜について理解を深めました＝写真。
- ・上地区の生産組合長や農業委員らで組織する上地区農園ハイク実行委員会は、4年ぶりの「上地区農園ハイク」を開きました。県内外から118組288人が訪れ、開催を心待ちにしていた多くの人でにぎわいを見せました。



1月

- ・特殊詐欺被害防止のための窓口対応を訓練しました。多様化する詐欺の手口への対応方法を学ぼうと、秦野警察署生活安全課の協力で実施。各支所・支店の信用窓口担当者8人が、窓口での適切な対応方法について身に付けました＝写真。
- ・国際協力機構(JICA)の日系団体社会研修を受け入れました。アルゼンチンやボリビアなど5カ国から7人が訪れ、地域活性化に向けた女性組織の活動について学習しました。



7月

- ・JAはだの夏まつりを開催。女性部がJAオリジナルキャラクターの浴衣を着て盆踊りを踊りました。「たばこ音頭」や「炭坑節」など9曲を用意し、来場者と一緒にやぐらを囲んで会場を盛り上げました＝写真。
- ・安定的な農業経営や地域農業の振興につなげようと、農政対策委員会が農林業施策・予算要請書を提出しました。委員長の宮永均組合長ら6人が、高橋昌和市長と小菅基司市議会議長に“農家の声”を届けました。



2月

- ・西支所のグランドオープンを記念して、オープニングセレモニーと竣工祝賀会を開きました。JA役職員や管内の組合員ら50人以上が出席。地域の新たな拠点の門出を祝いました＝写真。
- ・はだの都市農業支援センターが「はだの市民農業塾」の開講式を開きました。農の担い手として活躍が期待される修了者30人にエールを送りました。



8月

- ・第38回健康福祉大会を開きました。女性部や青年部、生産組合などから組合員153人が参加。健康福祉活動の計画などを確認した他、講演で健康的な生活習慣への理解を深めました＝写真。
- ・第60回創立記念式を開催しました。組合員や役職員約80人が出席し、創立から60年の歩み確かめるとともに、JAのさらなる発展を誓いました。



2023年度

JAはだの自己改革工程表実績について

農業者の所得増大・農業生産の拡大

●はだのじばさんずの取扱高維持

2023年度目標 7億円

2023年度実績 6億9,172万円

前年実績 6億7,796万円

前年比**102%**
1,376万円増加

出荷者の協力を得て、受託取扱高7億円を目標に取り組みましたが98.8%にとどまりました。取扱高は前年度を上回りました(前年実績対比102%)。

●生産者買取の拡大

2023年度目標 4,100万円

2023年度実績 4,654万円

前年実績 3,519万円

達成
1,135万円増加

中学校給食用青果物や、量販店・道の駅に向け農産物等を積極的に買い取った結果、前年実績を大幅に上回るとともに、年間目標も達成しました(前年実績対比132%)。

●仕入れ強化による生産資材の価格低減

2023年度目標 7品目

2023年度実績 7品目

前年実績 5品目

達成
・ラウンドアップ5.5ℓ
・フォース粒剤3kg
・ブリグロックスL5ℓ
・バスアミド10kg
・黒マルチ95
・有孔マルチ9515・9230
・生分解性マルチ

前年の農業に加え、新たにマルチの価格低減に取り組みました。

地域の活性化

●ふるさとの味伝承活動の展開

2023年度目標 4回(40人)

2023年度実績 6回(58人)

前年実績 3回(21人)

達成

市内の幼稚園や保育園、小学校を対象に活動を展開し、前年と比べ3回37人増加しました。

●フードライブ活動の実施

2023年度目標 2回(8カ所)

2023年度実績 2回(8カ所)

前年実績 3回(8カ所)

達成

物価上昇の影響で、各家庭での余剰食材が減少傾向にある中、女性部の協力で、8カ所の支所・支店で2回開催することができました。



経営基盤の確立・強化

事業再構築計画第2次再編の一環として、2024年2月22日(木)の営業終了をもって、上支所の金融共済業務(ATMを除く)を西支所へ統合しました。

対話・意思反映

春の座談会(81会場)と秋の座談会(78会場)を4年ぶりに対面で開催しました。延べ1,806人の組合員に出席いただき、合計で1,212件の意見・要望・質問をいただきました。

2024年度の事業計画について

基本方針

JAはだのは、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化に資するべく「不断の自己改革」に取り組むとともに、食と農を基軸に第六次中期経営計画(2022年度～2024年度)最終年度の実践に取り組みます。

基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現を目指し、さらなる地域農業振興と持続可能な地域社会づくりに取り組んでまいります。

重点実践計画

持続可能な地域農業を確立するため、営農指導の充実や農業生産基盤の維持・継続に努めるとともに、地産地消の拠点であるじばさんずを中心とした販売力の強化により、農業者の所得増大を目指します。また、総合的な相談・提案機能の強化を図り、組合員の多様なニーズに対応する他、非対面取引の充実により、金融共済取引の利便性向上に努めます。さらに、将来収支シミュレーションに基づいた支所・支店の業務集約、経済事業の収支改善に取り組み、経営基盤の確立を図ります。

総合基本計画

学習・実践

JA役職員と組合員に共通した人づくりの指針として掲げた「学び、実践する」という「行動規範(バリュー)」を実現するため、役職員に求められる専門知識や技術の習得によるスキルアップに努めるとともに、組合員教育事業をはじめとした組合員学習を展開することにより、農業・JAへの理解促進を進め、JA運営を支える組合員リーダーの育成に取り組みます。また、組合員組織の活性化を目的に活動を積極的に支援し、組織力・結集力の強化を図ります。

組織運営

JAの組織基盤の拡充を図るため、組合員加入を促進するとともに、組合員との活発な対話や諸活動への積極的な参加・参画を促し、アクティブメンバーシップの確立と、JA運営への意思反映機能の強化に努めます。また、さまざまな広報媒体を活用した情報発信を行い、組合員および消費者・地域住民に向けて農業やJAへの理解醸成を図る他、JAグループ一体となって農政活動や健康・福祉事業などに取り組みます。

事業活動

「第四次地域農業振興計画」を着実に実践し、生産振興と販売力強化を進め、地域農業活性化を図るとともに、農業者への営農継続支援や観光農業の振興に取り組みます。また、豊かな地域社会の実現に向け、営農販売や購買・金融・共済事業等が連携した総合事業の強みを生かした事業展開を進めます。

経営管理

持続可能な経営基盤強化に向けた「第七次中期経営計画」の策定に取り組みます。また、新たな業務執行体制のもと迅速な意思決定に加え、事業構造再構築の考え方にに基づき計画的に経営資源を配分し、経営の安定化、財務基盤の強化を進めます。さらに、経営の健全性と信頼性を高めるコンプライアンスおよびリスク管理機能の強化や監査態勢の充実に努める他、協同組合間連携や地域・社会貢献に取り組みます。